

令和2年度第1回土木建築部公の施設に係る指定管理者制度運用委員会  
平成31年度（令和元年度）指定管理者モニタリング検証結果について  
（宜野湾港マリーナ）

- 1 開催日時 令和2年11月19日（木） 10:28～11:03（説明及び質疑）
- 2 開催場所 与那原マリーナ 研修室
- 3 出席状況 委員4名中、4名出席  
委員 沖縄女子短期大学総合ビジネス学科教授 渡久地 啓  
委員 鈴木和子税理事事務所税理士 鈴木 和子  
委員 桜設計工房代表取締役社長 喜名 英之  
委員 （一社）日本マリン事業協会沖縄県支部長 眞喜志 康則

4 質疑概要

(1) 指定管理者から施設概要、モニタリング実施結果報告等について説明を行った。

(2) 委員からの主な意見（質問）等 ●委員、○指定管理者、◇県

●光熱水費の赤字が大きいのことだが、給電・給水設備の費用は適切に徴収できていないのか。

○コンセントをさせばすぐ使用できる状態であり、きちんと前払いの上使用するよう促している。また1日中利用した場合、現料金区分では1日9,600円となるため、高額ではないか、との意見がある。

●かなりの契約待機者がいると聞いている。増設の予定はあるのか。

◇海上係留については、現在9割近くの収容もあり単年度で見ると収入は増えてきたが、起債の償還にはまだ20年余りある状況でもあり、現時点で増設の検討はされていない。

○増設よりも今ある船に支障のないよう、各施設の修繕対応が必要と考えている。

●反グレについて、彼らはマリン好きも多い印象だが何か対策はあるか。

○反社会勢力ではないとの誓約書をとっているが、明確な基準はなく見た目では分からない。タトゥー露出の業者や客には、他から苦情もあるため注意している。

●現在の管理棟は10年以上が経過しているが、何か不具合はないか。

○管理棟については特段問題は無い。シャワー室の少なさが指摘されている。また、

今年度は入出港システムの更新も必要と考えており、急ぎ仕様などを検討している。

●サービスの質の評価はどのように把握しているか。

○数名の利用者に口頭で点数付けをしてもらったりしている。

●ビジネスマナーのセミナーを受講したとのことだが、今後はどうか。

○引き続き、県産業支援センターが主催しているセミナー等への参加を検討している。

●コロナ関連の影響は。

○現在も、管理棟前でのバーベキュー利用を禁止している。コロナの収束を見計らって再開したいと考えている。公共施設であるため、クラスターの発生は絶対に避けたい。

●収支に関して。

◇指定管理業務では赤字が続いている状況であり、自主事業の売り上げにより補っている状況。

○今年にはコロナの影響でイベント中止も相次ぎ、収支的に良いとは言いがたい。